



	V10	V9	TS4000	TS2060i/TS2060	V8i(N)/V8(N)	X1
本体プログラム	Ver. 1.700	Ver. 3.600	Ver. 1.400	Ver. 2.470	Ver. 2.390	Ver. 2.300 *2
OS	Ver. 1.80 *1	Ver. 5.00 *1	Ver. 1.20			

*1 アップデートするには、ストレージが必要です。

*2 X1のアップデートプログラムはホームページからダウンロードしてください。アップデート手順は同梱の『アップデート手順書』を参照。

接続

- 接続可能機種追加：キーエンス KV-X500/X300 (Ethernet TCP/IP)**
 対応機種：V10/V9/TS4000/TS2060i、X1
 接続機種：キーエンス KV-X500/X300 (Ethernet TCP/IP)
- 接続可能機種追加：キーエンス KV-X500/X300タグ (Ethernet UDP/IP)**
 対応機種：V10/V9/TS4000/TS2060i、X1
 接続機種：キーエンス KV-X500/X300タグ (Ethernet UDP/IP)
- 接続可能機種追加：富士電機 FSZ (MODBUS RTU)**
 対応機種：V10/V9/TS4000/TS2060、X1
 接続機種：富士電機 FSZ (MODBUS RTU)
- 接続可能機種追加：オムロン E5xC-T**
 対応機種：V10/V9/TS4000/TS2060、X1
 接続機種：オムロン E5xC-T

機能

1 OPC UAサーバ機能対応

対応機種：V10 (V10xxiSLPD のみ)
 TS4000 (TS4xx1Pi のみ)

* X1は①のみ対応済み

【概要】

V10/TS4000の特定型式で
 OPC UAサーバに対応しました。

以下の機能が使えます。

①データアクセス機能

クライアントからのアクセスに対して、PLCデバイス/内部デバイスのデータを返します。
 PLCがOPC UAに対応していなくてもモニタッチを経由して読み/書きできます。

②Event機能

モニタッチで発生した事象をイベントとしてクライアントに通知します。

③Method機能

クライアントからの呼出で、モニタッチがマクロを実行します。

④OPC UAサーバ、クライアント同時起動対応

モニタッチはOPC UAサーバとしてデータを提供するだけでなく、
 クライアントとして外部OPC UAサーバのデータを取得できます。

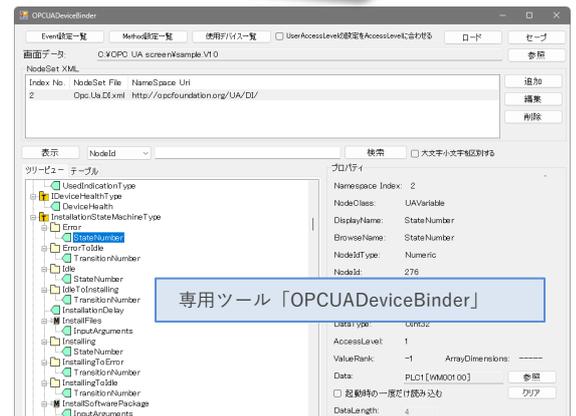
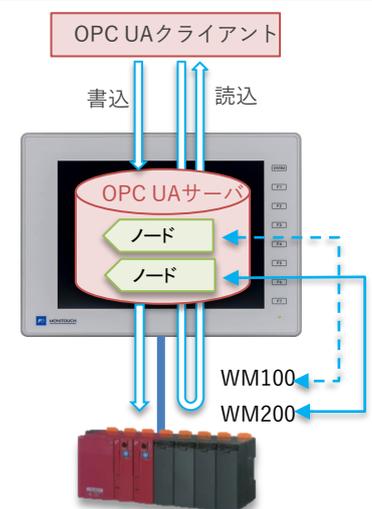
⑤専用ツール「OPCUADeviceBinder」による

OPC UAサーバのノードとPLCデバイス/内部デバイスのリンク設定の対応
 Nodeset XMLファイルと画面データを読みこんで、デバイスのリンクを行います。

【設定箇所】

プロジェクトビュー → [システム設定] タブ → [IIoT設定] → [OPC UA(サーバ)]

* 詳しくは『OPC UAマニュアル』参照



専用ツール「OPCUADeviceBinder」

2 OPC UAクライアント機能対応 * X1は対応済み

対応機種： V10/TS4000 * OSアップデートが必要

【概要】

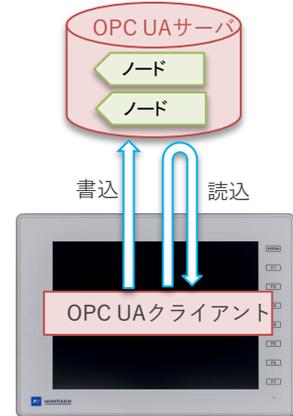
V10/TS4000でOPC UAクライアントに対応しました。
データアクセス機能が使えます。
NodeSet XMLのノード情報を画面データにインポートし、パーツや設定のデバイスに、タグとしてノードを指定できます。

【設定箇所】

プロジェクトビュー→ [ハードウェア設定] タブ→ [接続機器]
→ [PLC : OPC UAサーバTCP/IP (Ethernet)]

プロジェクトビュー→ [システム設定] タブ→ [IIoT設定] → [OPC UA (クライアント)]

* 詳しくは『OPC UAマニュアル』参照



3 Webサーバ機能拡張

対応機種： V10/TS4000 * OSアップデートが必要

【概要】

以下の機能を追加しました。

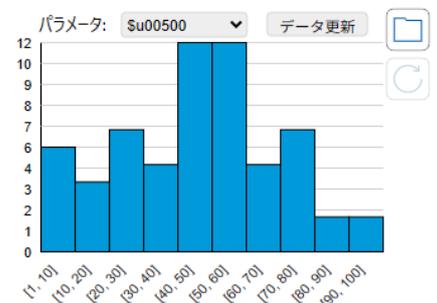
- ①対応ブラウザの追加
Microsoft Edge、iOS Safari 対応
- ②TELLUS5-HMI Webサーバ対応
- ③Smart Editor：タグ登録数拡張
V10、TELLUS5 : 32,767点
TS4000 : 16,383点
- ④Web Editor：パーツ追加
文字列表示(表示のみ)/テキスト表示(可変)/円グラフ/統計バーグラフ
ヒストグラム/P&ID (配管計装図) デザイン追加
- ⑤Web Editor：機能追加
 - a. スイッチ
-出力動作：モーメンタリ 対応
-インターロック 許可条件：タグ 対応
 - b. スイッチ/ランプ：ONパターン以降の文字色変更
 - c. 表示/非表示：許可条件：タグ 対応
 - d. 数値表示：ゼロサプレス表示 選択
 - e. グラフ (トレンド/バー/メータ)
-スケール値のタグ指定 対応
 - f. バーグラフ：左/右方向表示 対応
 - g. アラーム：表示順入れ替え対応
 - h. 通信設定：読込サイクル カスタム対応
 - i. タグ使用状況一覧

[P&ID (配管計装図)]



[ヒストグラム表示]

ログサーバの履歴データを使用



[タグ使用状況一覧]

タグの使用箇所を簡単に確認できます。

タグ名	使用箇所	機能
Bit1	スクリーン[0] 新規画面0	スイッチ
Bit1	スクリーン[0] 新規画面0	ランプ
Bit1	スクリーン[0] 新規画面0	スイッチ
Bit1	スクリーン[0] 新規画面0	ヒストグラム トリガ
Bit2	スクリーン[0] 新規画面0	スイッチ
Bit2	スクリーン[0] 新規画面0	ランプ
Char1	スクリーン[0] 新規画面0	文字列表示
Char2	スクリーン[0] 新規画面0	文字列表示
Data1	スクリーン[0] 新規画面0	数値表示
Data1	スクリーン[0] 新規画面0	テキスト表示
Data2	スクリーン[0] 新規画面0	数値表示
Data3	スクリーン[0] 新規画面0	数値表示

* 詳しくは『Webサーバマニュアル』参照

4 USBカメラ MotionJPEG対応

対応機種： V10

【概要】

「MotionJPEG」のカメラ映像表示に対応しました。
設定と、カメラの仕様が不一致の場合、情報出力デバイスに出力します。

【設定箇所】

プロジェクトビュー→ [ハードウェア設定] タブ→ [USBカメラ] → [エンコード]

【情報出力デバイス】

ビット	設定値	対応
06ビット	0：一致 1：不一致	USBカメラの仕様を確認の上、プロパティのエンコードを変更してください



5 TS4000シリーズ PDFビューア対応

対応機種： TS4xx1i、TS4xx1Pi のみ

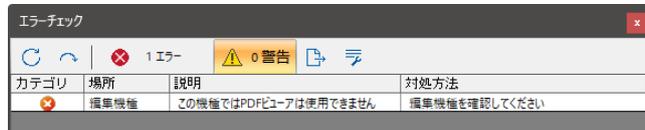
【概要】

TS4000シリーズの特定型式で、PDFビューア表示に対応しました。

【設定箇所】

プロジェクトビュー→ [ハードウェア設定] タブ→ [編集機種] で [1/Pモデル] にチェックを入れる

* [1/Pモデル] チェックなしで、PDFビューアの設定を行うとエラーチェックでエラーが出ます。



* PDFビューアの設定がある画面データは、PDFビューア非対応の本体 (TS4xx0i) に転送できません。

6 スイッチ/ランプ オフセット指定

対応機種： V10/V9/TS4000、X1

【概要】

スイッチの出力デバイスとランプのデバイス設定で、オフセット指定ができるようになりました。

【設定箇所】

スイッチ [メイン] → [出力デバイス] → [オフセット値指定デバイスを使用：する]

ランプ [メイン] → [ランプ機能を使用：ビットランプ/ワードランプ] 選択時

[オフセット値指定デバイスを使用：する]

* [Nステートランプ] 選択時、オフセット指定不可



【設定例1】

ベースデバイス：M0
 オフセット0 →M0
 オフセット1 →M1
 オフセット5 →M5

【設定例2】

ベースデバイス：D100-00 ワードデバイスのビット指定時はデバイス番号をオフセットします。
 オフセット0 →D100-00
 オフセット1 →D101-00
 オフセット5 →D105-00

7 拡張帳票 対応アイテム追加

対応機種： V10/V9/TS4000、X1

【概要】

拡張帳票画面に、トレンドサンプリングを配置できるようになりました。

【注意点】

トレンドサンプリングのスイッチは配置不可
 データサンプリングは非対応

8 ローカル画面：日付時刻設定

対応機種： V10/V9、X1

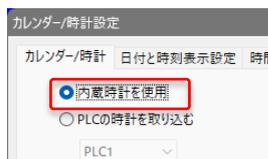
【概要】

ローカル画面の [日付時刻設定] 画面に、内蔵時計 [使用/未使用] の情報を表示します。

* 内蔵時計 [使用/未使用] の設定変更は画面データで行います。

内蔵時計未使用：PLCのカレンダーと同期する (この画面で日時変更不可)

内蔵時計使用：内蔵時計を使用 (この画面で、日時変更可)



9 システムデバイス追加 \$s1069

対応機種： V10/V9/TS4000

【概要】

システムデバイス\$s1069に、USBプリンタの状態を格納します。

\$s1069

0：印刷受付可能

1：印刷中 または 用紙切れなどによる動作停止

2：印刷データ送信不可

モニター

10 操作ログビューア 動作改善

対応機種： V10/V9/TS4000、X1

【概要】

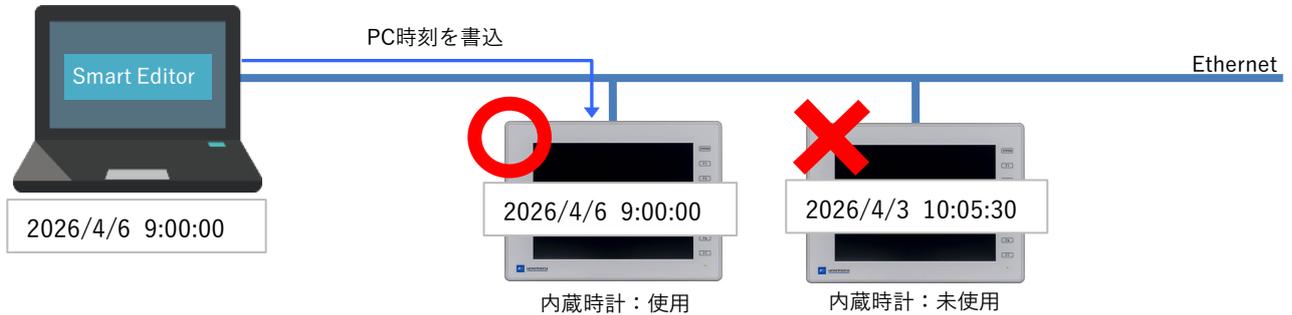
- ①フィルタ/ソート アイコンをデザイン変更しました。
- ②フィルタ/ソートの状態を電源OFF時も保持するようにしました。

1 内蔵時計の補正

対応機種： V10/V9/TS4000/TS2060、X1

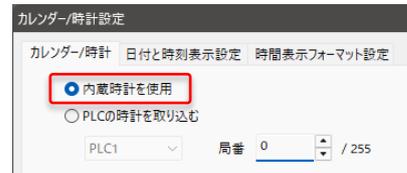
【概要】

Smart Editorから本体への画面転送時、パソコンの時刻を本体の内蔵時計に書き込みできます。
装置立ち上げ時やメンテナンス時の時刻補正が簡単に行えます。



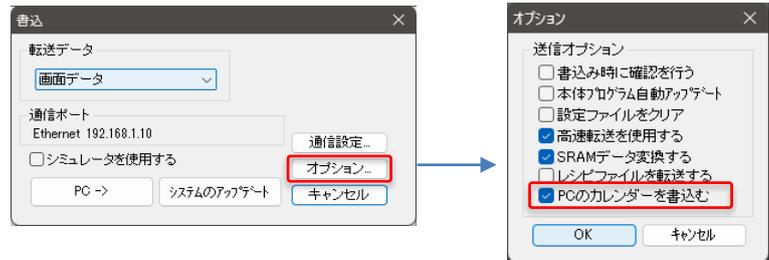
【設定】

- 画面データのプロジェクトビュー→ [カレンダー/時計設定] で [内蔵時計を使用] を選択します。



- * [PLCの時計を取り込む] 選択時は、RUN画面切替時にPLCのカレンダーと同期するため無効です。

- [転送] → [書込] → [オプション] で [PCのカレンダーを書込む] にチェックを入れます。



- [PC→] で転送実行します

2 Siemens製ソフト TIA Portal インポート機能対応

【概要】

TIA Portal Ver.20で作成したプロジェクトファイル (*.ap20) をインポート可能です。

* OSアップデートが必要(V10/TS4000のみ)

3 環境設定

【概要】

[環境設定] に、 [デフォルトに戻す] ボタンを追加しました。

設定変更して元の状態がわからなくなった時、初期状態に戻すことができます。

【補足】

画面データの設定によって、初期状態が異なります



プロジェクトビュー→ [ハードウェア設定] タブ→
[制御エリア] の場合 新規ファイル作成時の状態
[読込/書込エリア] 場合 V8以前のデータをV9/V10変換した状態

【注意点】

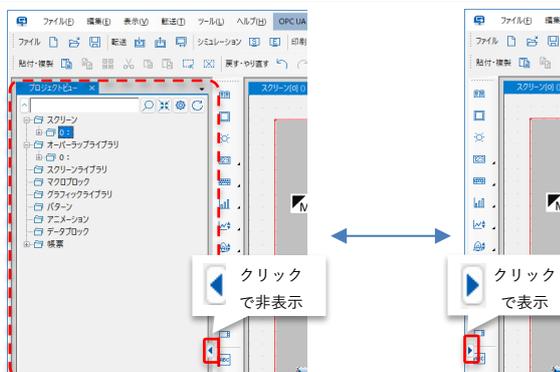
PLC機種が [汎用シリアル] (読込/書込エリア) の場合は、新規ファイル作成時の状態に戻ります。

4 動作改善

■プロジェクトビュー

①表示/非表示ボタン追加

プロジェクトビューの表示/非表示ができます



②ツリーの 全て展開/全て折りたたむボタン追加

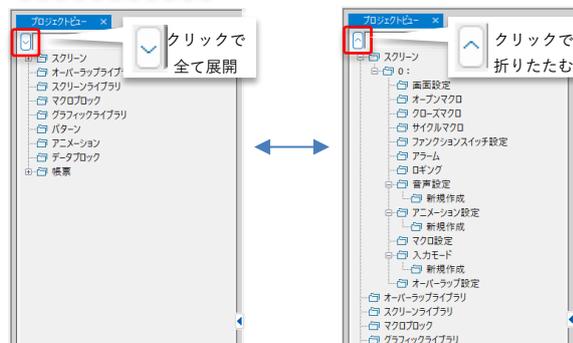
③起動時の表示状態の設定

【設定箇所】

[ファイル] → [プロパティ] → [環境] の
[初期表示時、ツリーを閉じる] のチェックで
画面データを開く時のツリー状態を設定できます。

チェックなし：ツリーを全て開いて起動

チェックあり：ツリーを全て折りたたんで起動

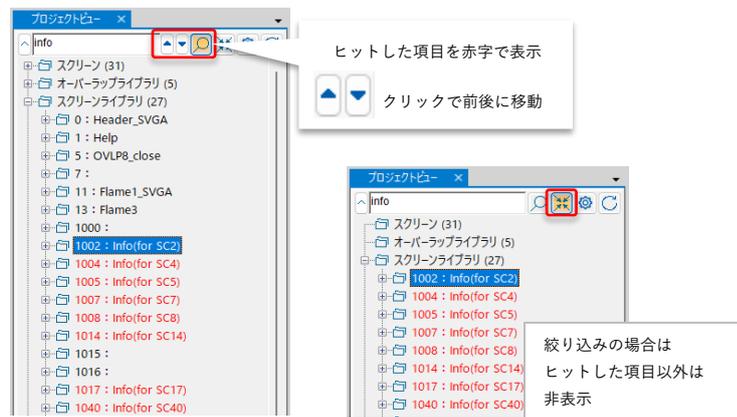


④検索機能追加

プロジェクトビュー内の文字を検索します

[ハードウェア設定] [システム設定] [画面] の各タブに
キーワードを登録できます

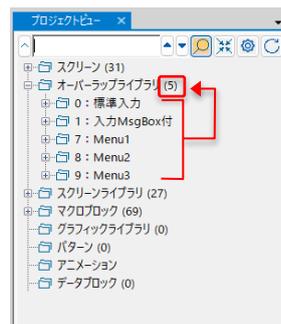
[検索] と [絞り込み] は同時使用不可



⑤ツリーの項目に登録数を表示

【設定箇所】

[ファイル] → [プロパティ] → [環境] の
[登録数 (xx) を表示] をチェックする



■ウィンドウ

Smart Editor終了時のウィンドウ状態を保持するように改善しました。

【対象ウィンドウ】

プロパティ / デザインプロパティ / カタログ

アイテム一覧 / エラーチェック

文字列検索 / シンボル検索 / クロスリファレンス / マクロコマンド

続く

■ プロパティ

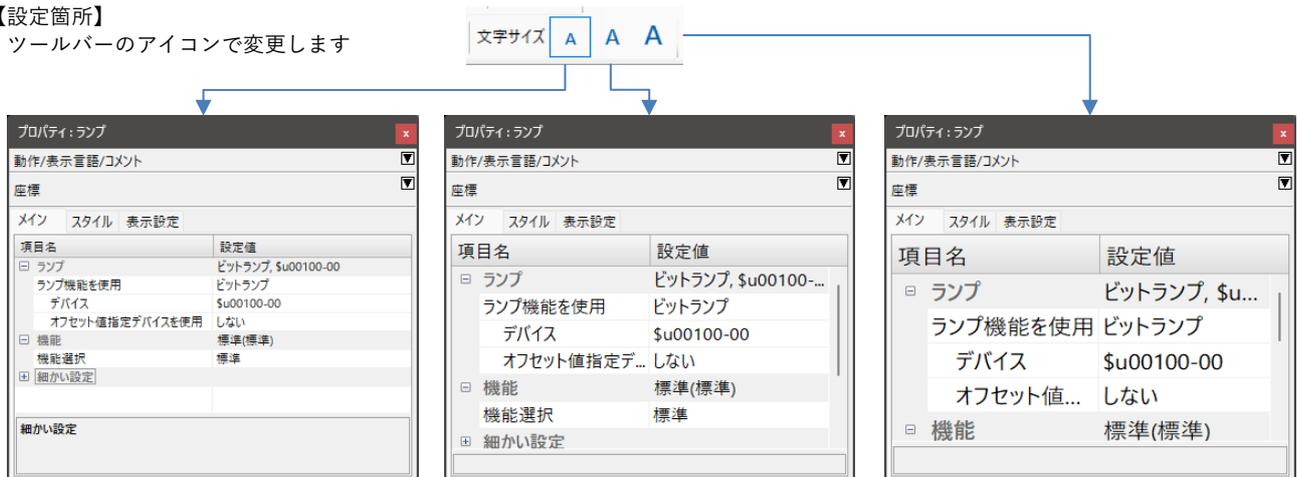
【概要】

①文字サイズの変更

「プロパティ」と「デザインプロパティ」の文字サイズを 小/中/大 で変更できます

【設定箇所】

ツールバーのアイコンで変更します



②スイッチ/ランプ [文字属性] 表示の改善

OFF/ON/P3..... 各パターンの文字を同時に表示できるようになりました

③スイッチ/ランプ [配置] / [コピー] アイコンの追加

文字列の配置 (左詰め/中央/右詰め) やコピーがアイコンのクリックで簡単にできます

